

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立富士中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の特徴を生かして、個に応じたきめ細かな指導を継続しつつも、生徒の主体的な学びを促す授業づくりを通しての学力向上を図る。また、家庭学習を主体的に取り組むことができるようにしていきたい。</li> <li>・学校行事・学級活動等において、生徒の出番と役割を積極的に設けている。今後は、承認することを通して、生徒の自己肯定感をさらに高めるようにしていきたい。</li> <li>・富士町の教育資源や地域人材を活用しながら、郷土を誇りに思う生徒の育成を図ってきた。この取り組みを、今後も続けるとともに内容を充実させていきたい。</li> <li>・富士校ならではの分離型一貫校の型をつくり、学校運営協議会の助言を得ながら地域と連携した学校づくりを目指したい。</li> </ul>

2 学校教育目標	地域を担う夢に向かって伸びゆく富士っ子の育成
----------	------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「五感教育」の推進・・・わかる授業づくりと家庭学習への取り組み</li> <li>②「生徒理解」「不登校対策」の推進・・・生徒を中心に据えた心の絆&amp;居場所づくり</li> <li>③連携「小中連携・家庭連携・地域連携」の推進・・・コミュニティ・スクールとしての絆づくり</li> <li>④教職員の資質向上と働き方改革を受けての取組の充実</li> </ul>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	○「分かる授業」を目指した、指導方法・評価方法の工夫改善の推進	○「先生は、私たちが分かりやすい授業を目指して工夫している」と思う生徒75%以上 ○「学校は、生徒が分かりやすい授業をめざし、学習内容や指導方法を工夫している」と思う保護者72%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け、年3回外部講師招聘による研修を実施する。</li> <li>・授業づくりにおけるサポートチームを組織し、実践的で協働的な体制を整える。</li> <li>・一人一回、校内での授業公開を行う。</li> <li>・表現力の向上を図るために、「1分間スピーチ」を実施し、他の生徒の前で意見を述べる機会を多く設ける。</li> </ul>			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「学校生活は安心して楽しく過ごせている」と思う生徒95%以上 ○生徒会活動の活性化によるボランティア活動等の参加85%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QUを活用した受容的な学級集団をつくる。</li> <li>・職員全員で取り組む道徳の授業を推進する。</li> <li>・生徒が自ら考え、行動するパワーアップ・プラン等を活用した主体的な生徒会活動を促進する。</li> </ul>							教育相談担当 道徳主任 生徒会担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「私はいじめゼロをめざした取組を行っている」と思う生徒100% ○「学校は、いじめをなくし命を大切にしている」と思う保護者80%以上 ○「いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けた取組を行っている」と思う教員100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の「いじめ・いのちを考える日」の取組と「生活アンケート」の実施</li> <li>・各種調査等によるきめ細かな生徒の実態把握</li> <li>・学年や生徒指導部の連携した組織的対応と、早急な対応による事案の解決</li> </ul>							生徒指導主事
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていてと思う」と回答した生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒75%以上 ◎自分の子どもは、将来の夢や目標をもっていてと思う保護者70%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や生徒会活動などを中心に、生徒が主体的に活動する場面を設け、全職員による開発的生徒指導を実践する。（生徒の出番と承認の場面の設定など）</li> <li>・身近な大人（先生、保護者、地域の人）が、夢や目標を子どもたちに語る場を設ける。</li> </ul>							教育相談 生徒指導 道徳教育
	○◎郷土を誇りに思う生徒の育成	○◎「富士町が好き」、「富士町を自慢できる」の生徒回答率100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育資源、人材を積極的に活用した体験活動を通した「五感教育」を推進する。</li> <li>・ふるさと富士に誇りをもって語ることができるゲストティーチャーを招聘する。</li> </ul>							総合的な学習
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④「健康を考えて行動できる能力の育成」	②「規則正しい生活を送っている」と思う生徒85%以上 ③「健康に良い食事をしている」と思う生徒90%以上 ④「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた生徒75%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝、早起き、朝ごはん運動」を家庭・地域と共に推進し、高い朝食喫食率を維持させる。</li> <li>・健康維持管理能力の向上を目指した健康指導、食育指導を行う。</li> <li>・保健日より、給食だよりの定期発行による意識の啓発を行う。</li> <li>・「いじめ・いのちを考える日」や、保健の授業などで、健康に生きることの大切さについて考えたり、他者と意見交換する場を設ける。</li> </ul>							保健体育科 保健・食育・給食
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在在等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在在等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日の設定と実施を徹底する。</li> <li>・職員会議等の協議内容を精選し、ペーパーレスにしたり、終了時間を設定したりして、常に時間短縮の意識を見える化する。</li> <li>・校時限の見直しを行い、職員の退勤時間を20～30分繰り上げる。</li> <li>・行事、指導の手引きを活用して、企画運営の時間短縮を図る。</li> </ul>							教頭
	○時間を意識した仕事の効率化	○「サーバー内のデータを分かりやすく整理保存した」と思う職員90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の業務改善を視野に入れた、データや作成した資料等の整理保存を徹底する。</li> <li>・分かりやすく整理保存し、各業務にかかる時間を短縮させる。</li> </ul>							教頭
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の意識の向上	○「支援や配慮が必要な生徒への関わり方や対応力が向上した」と思う職員90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する研修会の実施</li> <li>・ケース会議の開催、特別支援教育委員会での情報共有</li> </ul>							特別支援CO

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○小中連携	○9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の研究推進	○小中下部の全教職員による相互授業参観及び授業研究会を年2回実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部教員との協働による乗り入れ授業、「交流活動、授業参観を計画的に実施する。</li> <li>・小中合同協議会の内容を充実させ、効果的な合同研修会を実施する。</li> </ul>			
○コミュニティスクール	○学校運営協議会の充実	○「学校は、地域や保護者と連携して教育活動を推進している」と思う保護者80%以上 ○「学校の情報がよく伝わってくる」と思う保護者90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会における熟議を核として、連携を強化する。</li> <li>・学校便り、HP、学校情報メールを積極的に活用し、保護者、地域への積極的な情報発信・受信をする。</li> </ul>							教頭

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--